

令和5年11月30日

学生・教職員各位

ウエルネスセンター
所長 久保木眞

「インフルエンザ流行警報が発令、新型コロナ感染者数が増加傾向」

① インフルエンザ流行警報が発令

岩手県は、11月26日で県内でのインフルエンザの感染者数が1医療機関あたり33.97人と基準である30人を超えたため、「流行警報」を発令しました。学内での感染者数も11月に急増しています。今後、大流行が懸念されます。

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生 注意報
	開始基準値	継続基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10

警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを、流行発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性があることを示します。

② 新型コロナ新規感染者数が増加に転じました

県内の新型コロナの感染者数は先週まで11週連続で減少していましたが、今月26日までの1週間では1医療機関あたり2.78人と増加に転じました。

学内の感染者数は、8月がピークでしたので12月～2月にかけて感染者の増加が予想されます。

12月～2月にかけてインフルエンザの大流行と新型コロナの再燃が懸念されます。

健康被害を最小限にするために学内や公共交通機関内での**マスク着用・手洗い・うがい**等の基本的感染対策を徹底して下さい。また、発熱、倦怠感、咽頭痛、頭痛などの症状が出たら登校や出勤を控えてください。また、同居家族で体調不良者がいて検査を受けていない場合は、登校・出勤時には特に注意が必要です。ワクチン接種を予定している人はお急ぎください。